

平成 24 年 7 月 26 日

各 位

会 社 名 フューチャーアーキテクト株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 金丸 恭文
(コード番号 4722 東証第一部)
問合せ先 執行役員 中島 由彦
(TEL (03) 5740 - 5724)

平成 24 年 12 月期第 2 四半期連結業績（累計）のお知らせ

1. 平成 24 年 12 月期第 2 四半期連結業績（累計）について：

当社グループの平成24年12月期第 2 四半期累計期間（平成24年 1 月 1 日～平成24年 6 月30 日）の連結売上高は11,126百万円（前年同期比5.5%減）、同営業利益は724百万円（同55.5%減）、同経常利益は804百万円（同53.0%減）、同四半期純利益は463百万円（同56.8%減）となりました。

各事業分野の特記事項は次の通りです。なお、文中のセグメントの業績数値は、セグメント間の内部売上高又は振替高を調整前の金額で記載しております。

I Tコンサルティング事業は、大規模プロジェクトの一つが一段落しております。同時に、新たな成長戦略の一環として昨年以来取り組んできた、金融クラウド、VAO（付加価値の高いアウトソーシングサービス）やグローバルE R P案件などの新たなサービスに関して具体的なプロジェクトを複数開始することができたほか、新たな顧客層の拡大も図ることができました。一方、第1 四半期において一部のプロジェクトにおいて品質の向上のための費用が増加いたしました。また、戦略的投資を行った東南アジアでの事業やヘルスケア分野などの新規事業はまだ立ち上がり段階であり、コストが先行しております。以上の結果、売上高は7,068百万円（前年同期比4.7%減）、営業利益は754百万円（前年同期比48.0%減）となりました。

パッケージ&サービス事業は、株式会社アセンディアにおいては、好調な受注の獲得に支えられて、引き続き堅調に推移いたしました。F u t u r e O n e 株式会社においては、第 2 四半期に入って業績は回復しているものの、第 1 四半期に一部のプロジェクトで品質向上のための費用が増加したことの影響により、プロジェクトの利益率が悪化し、売上高は 1,992百万円（前年同期比 9.1%減）、営業利益は 10 百万円（前年同期比 91.1%減）となりました。

企業活性化事業は、食品スーパーを営む株式会社魚栄商店において、個別の店舗のニーズに合わせた商品の売場面積を拡大するなどにより売上高を確保しました。また、引き続きIT施策により安定した粗利率を実現したほか、チラシの有効的な配布などによるコストの低減を図りました。その結果、売上高は2,249百万円（前年同期比3.2%減）、営業利益は32百万円（前年同期比31.9%減）となり、営業黒字を継続しております。

2. 今後の見通しについて：

ITコンサルティング事業は、大規模システムのダウンサイジングやデータ処理のリアルタイム化によってITコストの大幅な削減と経営スピードの向上といったダブルの価値を新たな顧客に提供していくことによって、売上の拡大を図ります。さらに、第2四半期に引き続いて、金融クラウド、VAO、グローバルERP、およびlisnar+のような新規のサービスの拡大を図るとともに小売業のソリューションのモデル化、各業界における再編に伴うシステム統合ニーズへの対応、及びイーコマース基盤の構築など新たな顧客層の拡大を加速させてまいります。

東南アジアにおいては、シンガポールの子会社についてグローバルなERP企業との親密な関係をさらに深めるとともに、現地の大企業への提案活動を強化して早期の月次黒字化を目指してまいります。なお、マレーシアの子会社については、第1四半期・第2四半期とも黒字を確保しております。

また、当上半期にヘルスケア分野への本格的な進出を図り、ライフサイエンス コンピューティング株式会社を子会社化しましたが、今後も新規事業への戦略的投資は引き続き行ってまいります。

パッケージ&サービス事業は、Future One株式会社においては、一部のプロジェクトで利益率が低下したことを踏まえ、当社の社内で開発し、当社のプロジェクトの管理に使用している各種ツールを導入することによって、プロジェクト運営や品質の向上を厳格化して、利益率の改善を図ってまいります。さらに今後はバージョンアップした既存製品を投入する予定であり、これによって受注の増加や顧客満足度の向上を実現してまいります。また、株式会社アセンディアにおいては、得意とする運用保守サービスやシステム受託開発に加え、当社との連携強化・ノウハウ共有による公共ビジネスの拡大や、市場ニーズの高いニアショアビジネス（国内の地方拠点での開発等）、モバイル分野への対応を進めてまいります。

企業活性化事業は、株式会社魚栄商店において、非店舗営業の拡大等による売上増を図る

とともに、物流の効率化・品揃えの適正化・販売促進費の見直しによるコスト削減や自社 IT システムの再構築の検討・着手を行ってまいります。

以 上

●本件に関するお問い合わせ先：

フューチャーアーキテクト株式会社 IR 担当 池内

IR 直通 Tel：03-5740-5724 電子メール：ir@future.co.jp